

氏名	辻 玲子	部署	看護学科	職名	講師
研究分野	老年看護学				
学位	修士(看護学)				
学歴	1994年慶應義塾看護短期大学看護学科卒業、1999年大分医科大学医学部看護学科卒業、2001年日本赤十字看護大学大学院看護学研究科修士課程修了				
経歴	2012年 埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科 講師				
所属学会(役職)	日本認知症ケア学会(関東1地域部会長)、日本老年看護学会、日本看護管理学会、日本赤十字看護学会				

【2015年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了 ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1)著作					
1	該当なし				
(2)論文					
1	該当なし				
(3)学会発表					
1	高齢者虐待疑い事例に対する地域包括支援センターと病院外来看護師の連携の実態と課題ー認知症及びその疑いがある患者や家族のケースに焦点を当ててー	単著	第16回日本認知症ケア学会大会	○辻玲子	2015.5
2	外来看護における高齢者虐待徴候発見と対応のプロトコール開発(2)ー高齢者虐待疑い事例への病院内・外の多職種と外来看護師との連携の実態と課題ー	単著	日本老年看護学会 第20回学術集会	○辻玲子	2015.6
3	State of coordination between outpatient nurses and other professionals inside and outside the hospital in cases of suspected elderly abuse and related issues	単著	THE 10TH INTERNETIONAL ASSOCIATION OF GERONTOLOGY AND GERIATRICS (IAGG)	○Reiko Tsuji	2015.10.
4	関東1地域部会の事例検討会に事例提供したことによる事例の捉え方の変化ー認知症の周辺症状があるA氏の不安を取り除くケアを考えるー	共著	日本認知症ケア学会 2015年度関東地域大会	○斎藤義孝、辻玲子	2015.10.
5	認知症の家族介護者からみた長期療養における専門職連携の評価ー家族介護者へのインタビューで得た事例のプロセスからー	共著	日本認知症ケア学会 2015年度関東地域大会	○大塚真理子、畔上光代、須賀夏子、辻玲子	2015.10.
(4)その他					
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名、研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)		外来看護における高齢者虐待徴候発見と対応のためのプロトコール開発(研究代表者)	2015.4～2018.3	
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究B)		認知症高齢者の長期療養を専門職連携で支える研修プログラムの開発(研究分担者)	2014.4～2018.3	
3	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究)		都市型診療所における看護師のコンピテンシーとその構造化(研究分担者)	2014.4～2017.3	
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1)講義					
1	老年看護学 I	2015.11	1年次生に、老年看護学実習 I の導入講義を1コマ行い実習のイメージをつけた。		
2	老年看護学実習 I	2015.4～2015.6	2年次生に、実習前には地域で暮らす高齢者の特徴と理解、高齢者の健康とアセスメント方法など実習で活用できる内容を行い、実習後には実習先の高齢者を想起し、高齢者と地域のつながり、高齢者活用について講義した。		

(2)演習			
1 老年看護学Ⅱ	2015.4 , 2015.7	3年次生に、4月は要介護高齢者の看護過程の展開のグループワークがスムーズに進むように助言を行った。7月は「移動援助」演習において、4グループへ高齢者体験装具を使用しての指導を行った。口腔ケア演習では、スポンジブラシによる口腔清拭や口腔ケアモデルにて義歯の着脱方法を指導した。	
2 老年看護学Ⅲ	2016.1	3年次生に、グループワーク(老年看護学実習Ⅱの体験の共有や高齢者の家族支援を考えるなど)への助言や発表へのコメントを行った。実習した病院だけでなく、地域との連携にも視野が広がった。	
3 老年看護学実習Ⅰ	2015.4	2年次生に、1コマ実習施設の高齢者を想定したコミュニケーションの演習を高齢者役と学生役に扮して行い、実習への不安を解消した。	
(3)実習			
1 老年看護学実習Ⅰ	2015.4～2015.5	2年次生を対象に、13か所の老人福祉センターにおける高齢者とのコミュニケーションを中心とした実習を4週間にかけて(1人2日間)行った結果、高齢者イメージが変わり、高齢者の捉え方が変わった成果がでた。	
2 老年看護学実習Ⅱ	2015.11～2015.12	3年次生21名を対象に、医療療養型病棟を使用して、8週間の臨地実習を行った結果、看護展開しつつ、それぞれの高齢者のペースや認知症症状の程度に合わせたかかわりや援助を習得できた。	
3 総合実習	2015.7～2015.8	4年次生2名が認知症専門病院で3週間の臨地実習を行った結果、認知症症状のアセスメントや環境調整の仕方が理解できた。	
3 IPW実習	2015.10.	4年次生5名を対象に、介護老人保健施設デイケアの利用者の事例に対して、チーム形成が促進するようにファシリテーションした。	
(4)論文指導			
1 看護学科学部生 卒業研究	2015.4～2016.1	4名	
(5)その他			
1 老年看護学概論 (非常勤講師)	2016.1～2016.2	上尾看護専門学校の1年生約40名への講義・演習を14コマ行った。	
2 卒業研究 老年看護学領域担当	2015.4～2016.1	4年次生へオリエンテーションや卒業研究発表会の運営・指導を行った。	
4. 社会貢献活動			
(1)講演会、研修会等の講師			
講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1 大学連携講座 けんかつカレッジ	いきいき埼玉	認知症の早期発見・早期対応、予防について	2015.6
2 越谷市 シルバーカレッジ	越谷市	終末期のお年寄りへの胃瘻って本当に必要?	2015.9
3 市民講座	せんげん台パークタウン2番街	認知症の早期発見・早期対応、予防について	2015.11
4 関東1地域部会 事例検討会	関東1地域部会	多職種よれば文殊の知恵;メモなし、壁なし、だんまりなし(宇都宮7月・水戸2月)	2015.7と2016.2
5 看護研究研修・グループ別指導	鎌ヶ谷総合病院	講義と年7回のグループ別指導、研究発表会の講評	2015.5～2016.2
(2)国、自治体、財団法人等における委員等			
国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称		任期
1 日本認知症ケア学会	関東1地域部会長		2014.4～現在
2 日本認知症ケア学会	2015年度関東地域大会プログラム委員会実行委員、企画・演題座長		2015.2～2015.10
3 日本認知症ケア学会	第11回認知症ケア専門士認定試験 論文採点員・面接員		2015.10～2015.11
(3)ジャーナリズムでの発言			
メディア等の名称	内容		年月
1 該当なし			
5. 学内運営(委員会委員)			
1 看護学科 3年生担任及び3年生国試対策担当			
2 看護学科 卒業研究運営委員			
3 看護学科 国試対策プロジェクト委員			
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
受賞名	主催	受賞年月	
1 第16回日本認知症ケア学会大会 石崎賞 「高齢者虐待事例に対する地域包括支援センターと病院外来看護師の実態と課題」の発表に対して	日本認知症ケア学会	2015.6	
7. 特許の保有状況			
特許名	特許番号	登録年月	
1 該当なし			
8. 特記事項			
該当なし			